



# 地域連携センター Newsletter

## 健康長寿県とするために 地域連携センターへの期待

公益社団法人群馬県看護協会  
会長 小川 恵子  
(県民健康科学大学 評議員)



県民健康科学大学の先生方には、群馬県の看護職員の資質向上を目的とした当協会の研修会等の事業に対して、多大なご理解とご指導を賜り感謝を申し上げます。

特に、地域貢献の中心的役割を担っていただいております地域連携センターでは、平成24年度から看護学教員養成、看護職研究支援、教育普及、県立病院との連携等に具体的なご指導をいただき、看護職員の人材育成と看護力の向上に、ご尽力をいただいております。

中でも、看護学教員養成課程では、素晴らしい教育環境と充実した教育体制のもとで、看護基礎教育に携わる教育者の育成がなされており、看護教育の質の向上に大きく貢献されております。この事業は、県内外から高い評価を受けるとともに、課程修了者からも大変好評であります。今後は、看護学教員養成課程が大学院博士課程に発展することを期待しております。

さて、団塊の世代が75歳を迎える2025年(平成37年)に向けて、国では社会保障制度の改革が進められています。平成25年の群馬県における65歳以上の人口が25.8%(4人に1人が65歳以上)となり、現在においては、50万人を超えております。こうした急激な高齢化に対して、限られた医療資源のもとで、誰もが住み慣れた地域で安心して健やかに生活できることを願っているところです。

そして、医療の提供体制が病院施設完結型から地域完結型に転換していく中、私たち看護職は、地域の人々の暮らしと命を支えることを意識して日々取り組んでいるところです。また、看護職自身が所属している部署・組織だけでなく、地域全体の健康づくりや多様な場で多職種とチームを組み、的確な看護を提供することが大切です。それを実現するには、看護職一人ひとりが専門職としての学びを一層深め、健康でやりがいをもって働き続けられることが大変重要となります。

これからは、超少子高齢社会を見据えて、「大学の知」を地域の医療関係職種に還元いただき、地域包括ケアシステムの構築、(健康づくり・医療から介護の一体的サービスの整備)を進めるとともに、さらに、認知症対策や在宅看護・公衆衛生看護を担う人材育成等へ支援をしていただけるよう地域連携センターにご期待いたします。

## お知らせ

### 第1回公開講座

「顕微鏡って面白いー細胞で発現している蛋白質は、いつも動いている？止まっている？」参加者募集中！

講師が様々なプロジェクトの体験を通して得られたいろいろな画像をお見せしますので、科学っておもしろいということを小学生、中学生から大人の方まで感じていただける内容となっています。

【日時】平成26年8月23日(土) 14時～

【開催場所】県民健康科学大学

【講師】診療放射線学部 教授 青木武生

【対象】県民の皆様(どなたでもご参加いただけます)

【受講料】無料

【申込方法】本学ホームページからお申し込みください。また、はがき、FAX、電話でもお申込みいただけます。

## 平成25年度活動報告

### 特集【看護職研究支援事業】

本事業は、大学が所有する知的財産や研究成果を活用し、県内の看護職者の研究能力の向上に寄与することを目的として、群馬県内の病院、行政機関、健診機関、訪問看護ステーション、福祉施設、事業所等に所属する看護職者の皆さんの研究活動を支援する事業です。

平成25年度は、3回の看護研究セミナーを実施し、全セミナーを受講し、かつ、個別支援を希望する個人やグループから研究計画書を提出していただき、テーマに即した本学教員が支援教員として10ヶ月にわたり、看護職の皆さんの研究活動支援を行いました。



看護職研究支援事業を担当する中西教授

### 看護研究セミナー

#### 看護研究計画書の作成



講師：松田教授(52名参加)

#### 看護研究のための文献検索と文献検討



講師：狩野准教授(39名参加)

#### 臨床看護研究における倫理と手続き



講師：中西教授(55名参加)

### 看護研究個別支援事業

## Message 参加者の声

群馬県看護協会訪問看護ステーション粕川  
小内千保さん 羽鳥秋子さん



受講者のお二人と支援担当の飯田准教授

日々の訪問看護業務を行う中で、疑問を感じたりした時に、「こんな時に看護研究を行い疑問の解決に繋がればいいのかな」と思うこともありました。しかし、研究を行うことから離れて十数年たつと、気持ちはあってもどう進めてよいかの手段が分からず、結局そのままになってしまっていました。今回、研究個別支援を受け、担当教員の飯田先生の丁寧で細かい指導を受けることができ、苦手意識を感じることなく研究に取り組むことができ、本当に感謝しています。研究の楽しさも教えていただき、今後は今までよりも、積極的に楽しく研究ができる気がします。

#### 原町赤十字病院

角田祐子さん 齋木明美さん 平石良美さん  
小野田房子さん 狩野道子さん

とても緊張して大学に伺いましたが、岩波先生はいつもここにこと温かく迎えて下さいました。看護学研究について基本的な事もわからない私達にわかりやすく説明し、分析の際には、苦手なエクセルの裏技も教えてください、あっという間に時間が過ぎました。メールでの論文のやりとりでは、丁寧に添削していただきありがたかったです。研究の成果は、院内での発表を経て、さらに、日本看護学会の示説発表に採択されました。現場で働く看護師にとって研究は欠かせないものなので、この企画に参加できたことに感謝の気持ちでいっぱいです。



受講者の皆さんと支援担当の岩波准教授